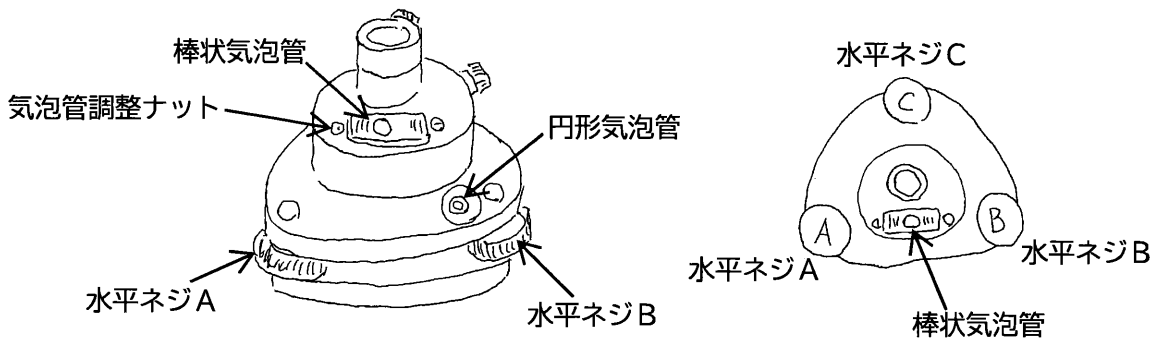


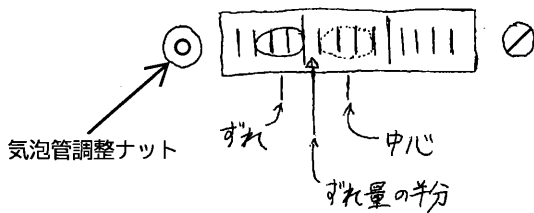
一素子プリズム整準台 棒状気泡管の調整方法



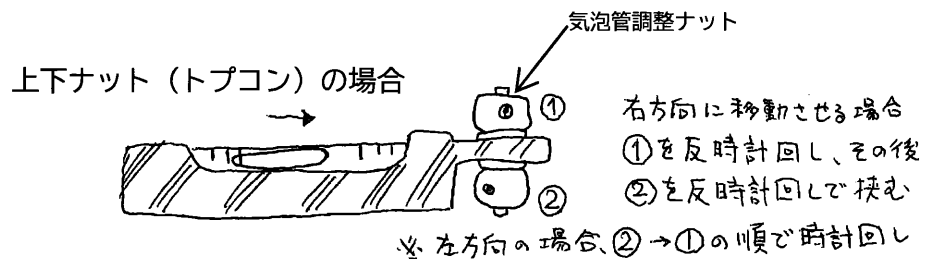
① 平らな安定した場所で整準台を整準します

- i A・Bの水平ネジに正対し、水平ネジA・Bで気泡を棒状気泡管の中心に入れる
- ii 90°回転させ水平ネジCで気泡を棒状気泡管の中心に入れる
- iii i・iiを繰り返して、両方で棒状気泡管の中心になっていることを確認する
- iv iiから180°回転させ気泡のずれを確認する
 - 気泡が中央からずれていない場合、調整不要
 - 気泡が中央からずれている場合、この位置から調整します。

② 気泡を中央からのずれの量の半分だけ水平ネジCで中央方向に動かします



③ 気泡管調整ナットを回し気泡を中央に合わせます



④ i～ivを繰り返して、どの位置でも気泡が中央になるよう調整します

※調整を繰り返しても気泡が中央に来ない場合、軸異常の可能性があるので
点検・修理が必要になります

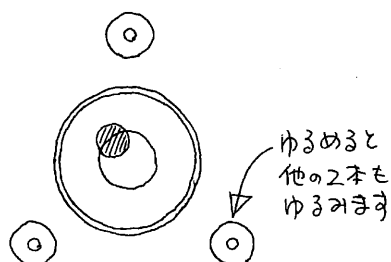
円形気泡管の調整方法

①先に整準台の棒状気泡管の調整をしてから、平らな安定した場所で整準します

→ 円形気泡管がずれていない場合、調整不要

→ 円形気泡管ずれている場合、下記の調整を行います

②ずれ方向を確認し、気泡のずれた方向と反対側の調整ネジを緩めて（反時計回り）気泡を中央に入れます



③1本ネジを緩めると、他の2本のネジも緩むため、3つの調整ネジの締め付け量が同量になるよう調整ネジを締め（時計回り）、気泡を中心に合わせます

※締めすぎると気泡管が破損します 『緩めてから締める』を徹底してください

また、手に負えないときは諦めてプロに調整してもらってください

ピンポールプリズムの気泡管も同様の調整となります

整準台と組み合わせて使う治具があると調整しやすいです

棒状・円形気泡管ともに調整ネジの締めすぎは破損につながります
細心の注意のうえ、自信が無い場合や
どうしようもなくなった場合は素直に
プロに頼みましょう